

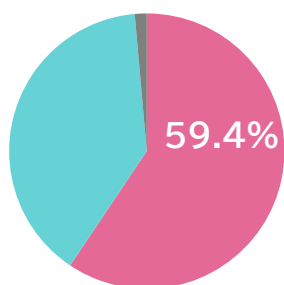
松山市こども計画策定のためのアンケートの結果

松山市こども計画は、みなさんの声をきいてつくっています。
令和6年度に行ったアンケートの結果と計画で取り組むことを紹介します。
【高校生(15歳)以上版 回答数2,700】

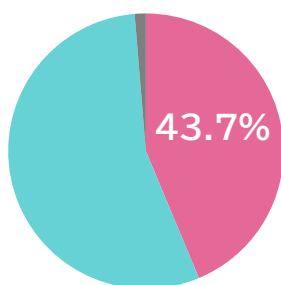
①こどもの権利を知っていますか？

くわしく知っている・知っている
聞いたことがある・知らない
無回答

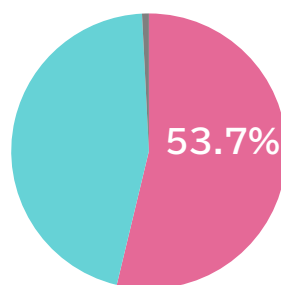
差別の禁止



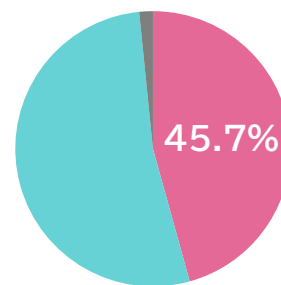
最善の利益



生命、生存及び
発達の権利



こどもの意見の
尊重



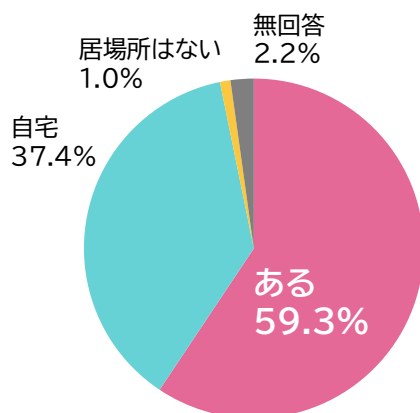
こどもの権利については、くわしく知っている・知っていると答えた人は5割前後。
最善の利益とこどもの意見の尊重については、半数以下の結果に。



計画では

こどもの権利について広く周知し、「こども・若者の意見表明の推進」を推進施策に掲げ、安心して意見を表明できる機会をつくり、反映する仕組みを整えます。

②自宅以外に安心して過ごせる自分の居場所がありますか？(15～17歳)



居場所があると答えた人は、小学生の81.1%に比べて約20ポイント下がっています。

また、自由意見では、こんな意見がありました。

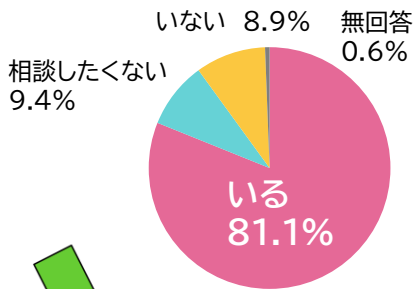
- ★学生が長い時間いても大丈夫な場所を増やしてほしい
- ★スケートボード等が使えるところを増やしてほしい



計画では

「こども・若者の居場所づくり」を推進施策に掲げ、学童期の放課後や長期休業中の居場所、中高生が求める居場所など、どこに、どんな居場所が求められているのか考えながら、充実させていきます。

③困りごとやなやみを相談できる人はいますか？



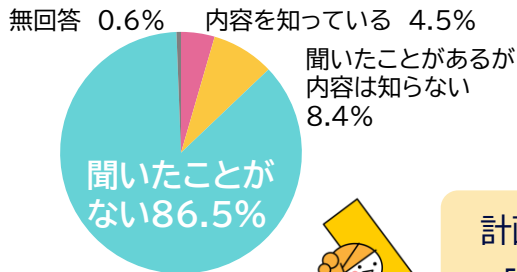
いない、相談したくない、と答えた人の理由は、
・ひみつが守られるか心配
・誰に相談したらいいかわからない
・近くにいない
という理由が約4割でした。



計画では

「こども・若者を誰一人取り残さず重層的に支援する」を基本方針に掲げ、いじめや不登校、ヤングケアラーなど様々な悩みに応じた相談体制を充実させ、適切な支援につなげるほか、支援に関する情報を必要な人が届くように発信します。

④プレコンセプションケアを知っていますか？



聞いたことがないと答えた人は、
全体で86.5%でしたが、
15歳から17歳では、94.4%でした。



計画では

「心身の健康向上」を推進施策に掲げ、発達の状況に応じて、心や身体の健康について必要な情報や正しい知識を身につけられるよう、情報発信や相談支援を行います。

⑤自由意見

- ★こどもと同じ目線で、障がいのある子もない子にも話をして聞いてほしい。まだまだ差があると思います。
- ★子育て支援は年々充実していると感じる。しかし、こどもが小さいうちがメインとなっているため、高校生や大学生になったときに経済的負担が大きい。
- ★もう少し将来の職業についてたくさんの職種を知る機会を増やしていただけたらありがたいです。



松山市こども計画でめざす姿

こどもたち 一人ひとりが主人公
～誰もが自分らしく輝く まつやま～

すべてのこども・若者が、健やかに成長、自立し、将来にわたって
幸せな状態で暮らせる「こどもまんなか社会」の実現に向けて計画を進めます。